

第38回日本血液事業学会総会プログラム

SL1

特別講演 1

第 1 日目：10 月 29 日（水）13：00～13：50 第 1 会場

臍帯血中の造血幹細胞発見秘話と最近の iPS 細胞研究

演者：中畑 龍俊（京都大学 iPS 細胞研究所副所長臨床応用研究部門特定拠点教授）

座長：小林 正夫（広島大学大学院医歯薬保健学研究院小児科学教授）

SL2

特別講演 2

第 2 日目：10 月 30 日（木）13：10～14：00 第 1 会場

軟骨細胞移植—その開発から保険収載まで—そして次世代治療は—

演者：越智 光夫（広島大学大学院医歯薬保健学研究院整形外科学教授）

座長：河 敬世（日本赤十字社近畿ブロック血液センター所長）

SL3

特別講演 3

第 2 日目：10 月 30 日（木）14：10～15：00 第 1 会場

白血病治療、その 35 年間の進歩

演者：許 泰一（広島赤十字・原爆病院血液内科部長）

座長：一戸 辰夫（広島大学原爆放射線医科学研究所教授）

SL4

特別講演 4

第 3 日目：10 月 31 日（金）11：00～12：00 第 1 会場

日清戦争から 120 年

演者：見延 典子（作家）

座長：土肥 博雄（日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長）

SY1

シンポジウム 1

第 1 日目：10 月 29 日（水）10：00～11：50 第 1 会場

PC-HLA 輸血の現状と課題

座長：高橋 雅彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

佐藤進一郎（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

① PC-HLA 輸血適応患者の現状

奥山 美樹（都立駒込病院輸血・細胞治療科）

② PC-HLA 供給の全国の実況

柏瀬 貢一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③ PC-HLA 供給に係る検査の問題点

高橋 大輔（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

④ 関東甲信越ブロックにおける PC-HLA 供給の実況と今後の課題について

杉山 朋邦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

⑤（追加発言）

HLA 適合血小板の供給時における交差適合試験についての考察

松崎 浩史（東京都赤十字血液センター）

SY2

シンポジウム 2

第 1 日目：10 月 29 日（水）10：00～11：50 第 2 会場

信頼される製品の実現と品質保証

座長：日野 学（日本赤十字社血液事業本部）

竹内 稔美（マツダ株式会社）

① 製剤部門とブロック内採血部門との連携

原田 博道（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

② 地域血液センター 採血部門から一鹿児島県における離島採血の実況一

岩切 栄子（鹿児島県赤十字血液センター）

③ 青森センターにおける品質保証活動への取り組み

成田久美子（青森県赤十字血液センター）

④ J-ABC 活動一地場部品サプライヤーとの協働改善活動一

水谷 智春（マツダ株式会社）

⑤ 輸血用血液の品質保証

飯田 俊二（日本赤十字社血液事業本部）

SY3

シンポジウム 3

第1日目：10月29日（水）14：00～15：30 第1会場

今日の移植医療

座長：大段 秀樹（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門消化器・移植外科学）

大藤 剛宏（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科）

①肺移植医療と感染症

大藤 剛宏（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科）

②血液型不適合肝移植におけるリツキサンの有効性

江川 裕人（東京女子医科大学消化器外科）

③クロスマッチ陽性例に対する臓器移植への挑戦

大段 秀樹（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門消化器・移植外科学）

④脳死および生体ドナーからの臓器移植の現状

剣持 敬（藤田保健衛生大学医学部臓器移植科）

SY4

シンポジウム 4

第1日目：10月29日（水）15：00～17：00 第2会場

血液センターにおける輸血検査に係る技術協力

座長：田所 憲治（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

直木 恭子（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

①関東甲信越ブロック血液センターにおける依頼検査の現状と課題

常山 初江（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

②中小規模医療機関への今後のMRの貢献について考える

～関東甲信越ブロックの取り組み～

日野 郁生（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③医療機関との連携強化に向けた輸血検査実技研修会の開催

中橋 祥隆（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

④医療機関向け輸血検査スキルアップ講習（訪問型）の試み

土川 珠美（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

⑤九州ブロックにおける医療機関の輸血検査技術向上支援事業について

石田 忠三（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

⑥血液センターにおけるレファレンスラボの在り方について

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

SY5

シンポジウム 5

第 1 日目：10 月 29 日（水）15：40～17：00 第 1 会場

血液製剤の安全性担保はどこまでできたか

座長：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

松倉 晴道（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①輸血副作用・感染症の発生状況

五十嵐 滋（日本赤十字社血液事業本部）

②非溶血性輸血副作用の病態、原因を解析するための各種検査法について

平山 文也（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

③輸血副作用発生防止への取組み：感染症副作用（ウイルス、細菌、寄生虫）

内田 茂治（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

④輸血副作用発生防止への取組み：感染症副作用（HBc 抗体基準改訂と個別 NAT 導入）

平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

⑤臨床現場からみた血液製剤の安全性について

室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

SY6

シンポジウム 6

第 2 日目：10 月 30 日（木）10：00～11：20 第 2 会場

看護師の人材育成

座長：首藤加奈子（日本赤十字社血液事業本部）

最所 浩美（東京都赤十字血液センター）

①採血業における看護師の人材育成

最所 浩美（東京都赤十字血液センター）

②広島県赤十字血液センターで取り組むキャリア開発の現状と課題

川口 泉（広島県赤十字血液センター）

③成人教育に基づいた採血責任者教育を経験して

加川 敬子（東京都赤十字血液センター）

④秋田県赤十字血液センターにおける看護師教育訓練

～その実施を困難にしているもの～

伊藤美恵子（秋田県赤十字血液センター）

SY7

シンポジウム 7

第2日目：10月30日（木）13：10～15：00 第2会場

供給体制と需給管理の現状と問題点

座長：清川 博之（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①九州ブロックにおける供給出張所と県境を越えた供給体制

井上 慎吾（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

②災害時（大雪）における需給管理への影響

木暮 秀哉（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③血液事業情報システム：オンライン受注から見えた供給体制

山田 高義（愛知県赤十字血液センター）

④安定供給促進小委員会による需給管理のデータ解析

簗持 俊洋（日本赤十字社血液事業本部）

⑤供給体制に対する医療機関満足度調査

遠藤 正浩（日本赤十字社血液事業本部）

⑥（特別発言）

これからの需給管理の取り組み

日高 敏（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SY8

シンポジウム 8

第2日目：10月30日（木）15：10～17：00 第2会場

戦略的な医薬情報活動の今後を考える

座長：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

細田 雅人（インタープロテイン株式会社）

①輸血療法の安全性向上と医薬情報活動～歴史的経緯・現状と課題～

高橋 雅彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

②医療機関からみた血液事業および医薬情報担当者の現状と課題

羽藤 高明（愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

③満足度調査からみられる血液センターの医療機関への関わり

遠藤 正浩（日本赤十字社血液事業本部）

④血液センターの勤務医と医療機関の情報共有

岩崎 潤子（福岡県赤十字血液センター）

⑤合同輸血療法委員会による地域輸血医療への貢献～地域センターと医療機関の連携～

面川 進（秋田県赤十字血液センター）

⑥今、求められている医薬情報活動とは

西田 一雄（日本赤十字社血液事業本部）

SY9

シンポジウム 9

第3日目：10月31日（金）09：00～10：50 第2会場

効率的な献血推進について

座長：松坂 俊光（愛媛県赤十字血液センター）

古賀 武生（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

①移動採血車一稼働 50 人（400mL）への挑戦

中村 隆（島根県赤十字血液センター）

②岡山センター職員が一丸となって取り組んだ献血者増加の取り組み

ー移動採血一稼働 400mL 60 人も夢ではないー

村上 文一（岡山県赤十字血液センター）

③石川センターの移動採血における献血者確保方法について

～1 稼働 80 人を目指す取組の実際～

加藤 昌宏（石川県赤十字血液センター）

④福岡センターにおける一稼働あたりの献血数維持の取り組み

石川 博徳（福岡県赤十字血液センター）

⑤青森センターの「これまで」と「これから」

柴崎 至（青森県赤十字血液センター）

EL1

教育講演 1

第1日目：10月29日（水）13：00～13：50 第2会場

血漿中の ADAMTS13 による血栓症の治療

演者：藤村 吉博（奈良県赤十字血液センター）

座長：谷本 光音（岡山大学大学院医歯薬総合研究科）

EL2

教育講演 2

第1日目：10月29日（水）14：00～14：50 第2会場

医薬品を製造する者に求められるもの

演者：櫻井 信豪（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）

座長：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

EL3

教育講演 3

第2日目：10月30日（木）09：00～09：50 第2会場

わが国の肝炎ウイルス感染の疫学：現状と課題

演者：田中 純子（広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学）

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

EL4

教育講演 4

第3日目：10月31日（金）11：00～11：50 第2会場

採血副作用の防止対策の研究について

演者：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

座長：伊藤 孝（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SR

特別報告

第3日目：10月31日（金）09：00～10：50 第1会場

日本赤十字社が協力する iPS 細胞研究と血液事業

座長：田所 憲治（日本赤十字社血液事業本部）

①日本赤十字社の iPS 細胞研究への協力

谷 慶彦（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

②日本赤十字社が協力する iPS 細胞由来血小板製造に係る研究の進捗状況

江藤 浩之（京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門）

③医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究の現段階と展望

木村 貴文（京都大学 iPS 細胞研究所基盤技術研究部門）

WS

ワークショップ

第1日目：10月29日（水）13：00～13：50 第3会場

赤十字ブランディングに向けた新たな広報活動への取り組み

座長：長田 信一（日本赤十字社企画広報室）

松崎 政治（東京都赤十字血液センター）

①全社的広報活動「もっとクロス！計画2」の挑戦

長田 信一（日本赤十字社企画広報室）

②全国初！3施設合同広報委員会による先進的な取り組み

円城寺 正（佐賀県赤十字血液センター）

③特設 WEB サイト「献血ってそうなんだ」～伝えたい気持ちを伝えたい人たちに～

池田 真実（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

④献血ルーム feel における新たな情報発信方法の検討

～「もっとクロス」を念頭においた各種の取組について～

森本レイ子（東京都赤十字血液センター）

SP1

特別企画 1 「地方からの挑戦」 演題

第2日目：10月30日（木）9：00～11：20 第1会場

「地方からの挑戦」 演題

座長：稲葉 頌一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

本田 豊彦（香川県赤十字血液センター）

①若年層献血者確保の取り組み（第2報）

学生・街京都 新たな献血者の開拓「献血と学食のコラボ」

林 俊成（京都府赤十字血液センター）

②学校教育としての献血への取り組みと卒業後の献血状況について

齋藤 哉（神奈川県赤十字血液センター）

③輸血学教育と献血推進を目的とした学術課の新しい業務について

野口 洋介（兵庫県赤十字血液センター）

④北海道献血者における糖尿病関連検査グリコアルブミン異常率の5年間の推移

西田菜穂子（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

⑤医療機関との双方向コミュニケーションを目的とした説明会の実施

清水 貴人（宮城県赤十字血液センター）

⑥地域血液センター固定施設の今後の在り方～近未来のモデルケース～

清水 慎一（福井県赤十字血液センター）

⑦自分たちの思いを、自分たちの手で。

～体験からの即復習で経験値を積む。広報スキルアップ作戦～

中野 有華（静岡県赤十字血液センター）

⑧若手職員による事業効率化への取り組み

－ IT 化推進プロジェクトで考察した4つの対策－

藤岡 侑子（広島県赤十字血液センター）

⑨九州ブロック管内血液センター表彰制度「グッドジョブ賞」について

青柳 里美（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

⑩中四国ブロック血液センター・用度業務効率化検討会による業務内容改善に向けての取り組み

藤田 一輝（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

⑪東海北陸ブロック血液センター製造部門における QC 活動への取り組み

大塚 祥世（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

⑫看護師確保対策の検討～ナース業務の謎解き DVD 作成を試みて～

舩田 里枝（熊本県赤十字血液センター）

SP2

特別企画2 ブロック血液センター所長推薦優秀演題

第2日目：10月30日（木）15：10～17：00 第1会場

ブロック血液センター所長推薦優秀演題発表会

座長：加藤 恒生（東京都赤十字血液センター）

池田 和真（岡山県赤十字血液センター）

【北海道ブロック】

輸血用血液中の細菌遺伝子検査法の高感度化についての検討

吉政 隆（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

【東北ブロック】

稀な血液型に係わる業務の効率化ーブロック化に伴う効果ー

高橋美都保（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

【関東甲信越ブロック】

血液製剤への細菌混入ルートの可能性を考える

松本 真実（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

【東海北陸ブロック】

地域の特徴を生かした福井県での献血啓発一筆啓上「献血編」の取り組みについて

宮川 亮一（福井県赤十字血液センター）

【近畿ブロック】

効率的なさい帯血バンク事業運営に向けた調製開始細胞数基準の検討

堀江 芳典〔日本赤十字社近畿ブロック血液センター（日本赤十字社近畿さい帯血バンク）〕

【中四国ブロック】

県境を越えた広域的な血液製剤の需給・移管体制について

安達 航（島根県赤十字血液センター）

【九州ブロック】

血流量ならびに脈拍数の連続測定による VVR 早期発見への取り組み（第1報）

林田 直美（宮崎県赤十字血液センター）

共催（ランチョン）セミナー

第1日目：10月29日（水）12：00～12：50

共催セミナー1（第1会場）

共催：富士レビオ株式会社

B型肝炎ウイルス感染スクリーニング診断に関する最新の知見

ー求められるHBV関連マーカーの特性ー

演者：田中 靖人（名古屋市立大学大学院医学研究科ウイルス学）

座長：谷 慶彦（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

共催セミナー2（第2会場）

共催：株式会社ジェイ・エム・エス

安全な体外循環管理を目指してーレーザ血流計の応用ー

演者：江口 圭（東京女子医科大学病院臨床工学部）

座長：入田 和男（佐賀県赤十字血液センター）

共催セミナー3（第3会場）

共催：川澄化学工業株式会社

血液廃棄削減と血液搬送冷蔵庫

演者：松崎 浩史（東京都赤十字血液センター）

座長：南 陸彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

共催（ランチョン）セミナー

第2日目：10月30日（木）12：10～13：00

共催セミナー4（第1会場）

共催：株式会社グリフォルス

Grifols Pioneering Spirit

演者：和田 信次（President & CEO, Grifols Japan KK）

演者：平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

座長：Matthew Powell（Vice President and Head of Commercial Operations, APAC Grifols）

共催セミナー5（第2会場）

共催：株式会社イムコア

HLA antibody test for risk reduction of TRALI

演者：Massio Manjiola（Rhode Island Blood Center）

座長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催セミナー6（第3会場）

共催：テルモ BCT 株式会社

～つなげる愛のバトン～献血にたずさわる人たち**第1部 地域と世代を繋げる献血推進**

演者：前原 恒泰（広島中央ロータリークラブ）

春木 孝也（広島経済大学3年）

佐々木真理（広島都市学園大学2年）

第2部 サンドアートパフォーマンス 癒しのとき

演者：サンドアートパフォーマンスグループ SILT

座長：土肥 博雄（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

＜一般演題＞

検査（口演）

第1日目：10月29日（水）10：00～10：50 第3会場

迫田 岩根（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-001 市販の遺伝子検査試薬を用いた日本人 RhD variant の遺伝子検査

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 田中 光信 | 釜田 生子 | 高橋 順子 |
| | 平島 瑞子 | 木村 恵子 | 松倉 晴道 |
| | 谷 慶彦 | 河 敬世 | |

O-002 北海道における低頻度抗原 Miltenberger 抗原の検出頻度

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 久保 晴敬 | 三浦 佳乃 | 宮崎 孔 |
| | 大橋 恒 | 松林 圭二 | 佐藤進一郎 |
| | 加藤 俊明 | 紀野 修一 | 池田 久實 |
| | 高本 滋 | | |

O-003 A1 型と A2 型が混在していると考えられた ABO 血液型キメラの一例

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 河野 薫 | 小田 晃 | 井上 広子 |
| | 奥田久実子 | 平島 瑞子 | 石井 博之 |
| | 木村 恵子 | 松倉 晴道 | 平山 文也 |
| | 谷 慶彦 | 河 敬世 | |

O-004 cisA₁B₃ (cisAB/Aⁱ) と強陽性に反応するヒトモノクローナル抗 B 産生細胞株の樹立

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 海透紗弥佳 | 豊田 智津 | 鈴木 由美 |
| 後藤 美幸 | 常山 初江 | 矢部 隆一 |
| 鈴木 雅治 | 内川 誠 | 中島 一格 |

O-005 ヒト iPS 細胞由来不死化赤血球前駆細胞株を用いた血液型検査用パネル細胞作製の試み

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 船戸 興自 | 栗田 良 | 小笠原健一 |
| | 柴 雅之 | 佐竹 正博 | 田所 憲治 |

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|------|
| 長部 隆広 | 常山 初江 | 内川 誠 |
|-------|-------|------|

理化学研究所バイオリソースセンター細胞材料開発室

中村 幸夫

 感染症検査（口演）

 第1日目：10月29日（水）11：00～11：50 第3会場

 沖 学（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

O-006 HBe 抗体基準変更後の輸血用血液の安全性向上の評価について

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 礪波 秀紀 | 杉山 美和 | 橘川 薫 |
| 鈴木 雅治 | 佐竹 正博 | 中島 一格 |

O-007 九州における HTLV-1 スクリーニング陽性者の地理的分布について

日本赤十字社九州ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 守田麻衣子 | 井上由紀子 | 後藤 信代 |
| 相良 康子 | 平山 秀明 | 迫田 岩根 |
| 入田 和男 | 清川 博之 | |

佐賀県赤十字血液センター

入田 和男

O-008 核酸増幅検査（NAT）用ランコントロールの使用状況について

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 橘川 薫 | 服部 文子 | 福田 俊洋 |
| 礪波 秀紀 | 鈴木 雅治 | 中島 一格 |

O-009 化学発光酵素免疫測定法（CLEIA）によるヒトパルボウイルス B19 抗原検査の現状と特異性に関する問題点

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 山保 文 | 坂田 秀勝 | 大和田 尚 |
| 伊原 弘美 | 松林 圭二 | 佐藤進一郎 |
| 加藤 俊明 | 紀野 修一 | 池田 久實 |
| 高本 滋 | | |

O-010 CMV 抗体陰性血確保の取り組みについて

日本赤十字社九州ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 中野 稔 | 竹本 謙一 | 藤村佳世子 |
| 田久保智子 | 真鍋 寛司 | 橋口 聖一 |
| 迫田 岩根 | 入田 和男 | 清川 博之 |

 献血推進 1 (口演)

 第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 14 : 00 ~ 14 : 50 第 3 会場

 佐々木 信之 (鳥取県赤十字血液センター)

O-011 商業施設と連携した、子供向け献血模擬体験イベント“キッズ献血”の取組み

三重県赤十字血液センター

堀代 達矢

松井 伸之

水井 一貴

笠井 公一

中西 淳

多田羅吉晴

頓部 邦夫

岡田 昌彦

イオンモール東員

八木 基皓

三重県学生献血推進連盟“みえっち”

泉屋 直輝

福島 智之

亀岡 盾

O-012 県医師会と連携した献血啓発イベント「茨城県献血フェスタ」について

茨城県赤十字血液センター

小瀬 剛志

武井 浩充

豊田 重特

佐藤 純一

茨城県医師会

諸岡 信裕

小松 満

O-013 献血推進モデル指定都市の誕生とその効果について

鹿児島県赤十字血液センター

平田 章子

徳瀬 寛貴

松尾 圭馬

古賀奈津子

長崎 敏幸

橋口 厚太

上原 徹

白窪 正四

小山 なせ

藤村 慎一

米澤 守光

中村 和郎

榮鶴 義人

吉田 紀子

O-014 パイロットセンターとしての取組み～赤十字献血ふれあいカーニバルの開催～

和歌山県赤十字血液センター

中出 佳秀

阪本 晃

嶋田 博之

宮崎 敬三

西山 彰彦

佐藤 克明

田村 康一

O-015 献血者メッセージ&サンキューレター交換セレモニー～たくさんの愛をありがとう～

沖縄県赤十字血液センター

山里 正

井上 稔之

坂田 竜司

仲本 正嗣

山城 幸広

上江洲富夫

大久保和明

採血 1 (口演)

第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 14 : 00 ~ 14 : 40 第 4 会場

佐藤 恵子 (神奈川県赤十字血液センター)

O-016 成分採血装置 CCS での 20 単位血小板採血における取り組みについて

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 新潟県赤十字血液センター | 庭野美代子 | 佐藤佳代子 | 本間 弥生 |
| | 小林 智子 | 立川 泰雄 | 今田 恒芳 |
| | 布施 一郎 | | |

O-017 びわ湖草津献血ルームにおける成分採血装置の有効利用による血小板確保

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 滋賀県赤十字血液センター | 小林てるみ | 川崎 秀二 | 半田 純子 |
| | 西川 健治 | 新宮 るみ | 藤居 和美 |
| | 佐藤 寛美 | 横内 光 | 小笹 宏 |

O-018 血小板採血拡大に向けたクエン酸反応の有無を考慮したアンケート調査

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 茨城県赤十字血液センター | 平野 知美 | 栗又 彩乃 | 高松 貴代 |
| | 菅谷 啓子 | 藤田 裕子 | 飯村 峰子 |
| | 橋本あい子 | 佐藤 純一 | |

O-019 FFP 規格変更に伴う血小板成分採血の取り組み

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 大阪府赤十字血液センター | 奥山かおり | 山田 葉子 | 浅田 恵 |
| | 塚本 昭子 | 泉本 柳子 | 中村 一彦 |
| | 中出 亮 | 神前 昌敏 | |

製剤 1 (口演)

第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 14 : 50 ~ 16 : 00 第 4 会場

坪倉 裕昌 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

O-020 pH 同一条件下における ACD-A 液および CPD 液の凝固因子活性の保存性能

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 森 純平 | 寺田あかね | 大橋 祥朗 |
| | 小河 英人 | 坪倉 裕昌 | 河 敬世 |

O-021 新鮮凍結血漿の凍結速度に関する検討

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 滝口 淳 | 森 純平 | 澤田 京子 |
| | 寺田あかね | 大橋 祥朗 | 小河 英人 |
| | 坪倉 裕昌 | 河 敬世 | |
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 淵崎 晶弘 | | |

O-022 急速凍結装置による血漿凍結時の最大氷晶生成帯の検討

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社東北ブロック血液センター | 高橋翔太郎 | 三浦隆太郎 | 奥山 寛稔 |
| | 千田 愛美 | 三浦 正光 | 川島 航 |
| | 星 尚宏 | 及川 伸治 | 堀部 泰人 |
| | 浦野 慎一 | 峯岸 正好 | 伊藤 孝 |

O-023 全血液の分離までの時間と温度に関する検討～新鮮凍結血漿 -LR の品質について～

| | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 藤原 満博 | 若本志乃舞 | 内藤 祐 |
| | 林 宜亨 | 秋野 光明 | 本間 稚広 |
| | 紀野 修一 | 池田 久實 | 高本 滋 |
| 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター | | | |
| | 小野寺秀一 | 榎本 圭介 | 茶谷 真 |
| | 栗原 勝彦 | | |
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 柴 雅之 | | |

O-024 過冷却制御で凍結した血漿製剤及び赤血球製剤の品質について

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 淵崎 晶弘 | 柴 雅之 | 佐竹 正博 |
| | 田所 憲治 | | |
| 大陽日酸株式会社 | 大野 裕貴 | 関原 章司 | |

O-025 保存温度の変化が照射赤血球濃厚液 -LR の品質に及ぼす影響について

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 内藤 祐 | 秋野 光明 | 本間 稚広 |
| | 紀野 修一 | 池田 久實 | 高本 滋 |
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 柴 雅之 | | |

O-026 全血液の分離までの時間と温度に関する検討～赤血球濃厚液 -LR の品質について～

| | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 布施 久恵 | 内藤 祐 | 藤原 満博 |
| | 林 宜亨 | 若本志乃舞 | 秋野 光明 |
| | 本間 稚広 | 紀野 修一 | 池田 久實 |
| | 高本 滋 | | |
| 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター | | | |
| | 小野寺秀一 | 榎本 圭介 | 茶谷 真 |
| | 栗原 勝彦 | | |
| 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 | 柴 雅之 | | |

献血推進 2 (口演)

第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 15 : 00 ~ 15 : 50 第 3 会場

前迫 直久 (島根県赤十字血液センター)

O-027 中四国ブロック血液センター献血推進支援委員会の経過について

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社中四国ブロック血液センター | 小合 郁夫 | 立野 俊治 | 篠田 達仁 |
| | 重田 達身 | 岡田 英俊 | 大川 正史 |
| | 古賀 武生 | 土肥 博雄 | |

**O-028 ショッピングモール常設専用駐車場を用いた「献血ステーション」の活用
～ 1 会場年間献血者 1 万人の達成～**

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 岡山県赤十字血液センター | 櫻井 聡 | 今脇 崇行 | 古谷野 智 |
| | 沼本 高志 | 廣江 善男 | 村上 文一 |
| | 大森久仁子 | 川邊 修 | 池田 和真 |

O-029 移動採血 1 稼働あたり 50 名採血を目指して

| | | | |
|--------------|------|-------|-------|
| 島根県赤十字血液センター | 永田 慎 | 金森 慶太 | 門脇 晃一 |
| | 中村 隆 | 増田 雅也 | 前迫 直久 |

O-030 近畿ブロックにおけるサイトノミクスの活動について

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 下垣 昭二 | 松田 清功 | 藤田 秀行 |
| | 田中 孝 | 面高 修 | 駒田 修 |
| | 豊田 尚志 | 保坂 勇一 | 龍 延博 |
| | 河 敬世 | | |

O-031 愛媛県の過疎地域における移動採血車稼働率を維持するための対策

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 愛媛県赤十字血液センター | 秋山 大悟 | 相原 敬治 | 福田 稔 |
| | 上松陽二郎 | 岡田麻美子 | 稲丸 里佳 |
| | 廣木 哲也 | 芦原 俊昭 | |

献血推進 3 (口演)

第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 16 : 00 ~ 16 : 50 第 3 会場

山本 昌弘 (広島県赤十字血液センター)

O-032 北九州事業所管内の県立高等学校献血推進事業への取り組み

| | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 福岡県赤十字血液センター | 鍋島喜代隆 | 仲岡 奈美 | 緒方 毅史 |
| | 吉田 正直 | 櫛木 健治 | 森下 亨 |
| | 松田 敦志 | 立花 和彦 | 下田善太郎 |
| | 佐川 公矯 | | |

O-033 東京都学生献血推進連盟による若年層に対する献血の普及啓発について

東京都赤十字血液センター

郷原 貴利

加藤 恒生

青柳 和彦

森田 昭

村松 昭

上村 和哉

高橋 彩

菊池 正樹

押切 結花

東京都学生献血推進連盟

福山 翔大

早川 隼也

O-034 推進課・採血課協同行う若年層啓発活動について

広島県赤十字血液センター

川村 綾

重元百合香

江南 亜紀

松本まゆみ

泉 真紀

岡田 真衣

戸根 安洋

木下ひとみ

上森 清志

浦 博之

山本 昌弘

O-035 県境を越えた HLA 適合ドナー確保に関する取組み

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

高橋 秀典

金井 準一

東京都赤十字血液センター

須藤 守弘

森田 里美

藤原 敦

飛松 昌宏

田口 淳一

蓮見 富也

松崎 浩史

加藤 恒生

O-036 香川県の移動採血におけるメール要請の現在と今後の課題

香川県赤十字血液センター

眞鍋 知裕

溝渕奈美恵

川崎 浩幸

黒嶋 秀樹

山地 眞

森原 久紀

本田 豊彦

製剤 2 (口演)

第 1 日目 : 10 月 29 日 (水) 16 : 10 ~ 17 : 00 第 4 会場

百瀬 俊也 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

O-037 血小板原料の凝集塊発生要因の解析と血小板活性化との関連性についての検討

日本赤十字社東北ブロック血液センター

小田島千尋

及川 伸治

星 尚宏

川島 航

浦野 慎一

堀部 泰人

鈴木 光

峯岸 正好

伊藤 孝

O-038 血小板製剤中の血小板粒度分布および凝集状況の検討

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

一杉 芽美

寺田 周弘

柴 雅之

佐竹 正博

田所 憲治

O-039 自動血球計数装置での血小板製剤の血算における PLT Clumps の発生に関与する因子の検討

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

若本志乃舞

藤原 満博

秋野 光明

内藤 祐

林 宜亨

本間 稚広

紀野 修一

池田 久實

高本 滋